

さまざまな訪問者

つくし保育園は子どもたちのワンダーランド…であったが最近では子どもたち以外からも、大人気らしい。たとえば…

先週土曜、朝一番の職員が正門にさしかかるとお隣のHさん宅屋根の上になにやら人影？  
と思ってよく見ると、なんとニホンザル！

「どこから来たのだろうか？」。

若々しい青年ザルが座り込み、朝の新鮮な空気を吸っていた。

「見て見ぬふり」して門くぐろうとしたその瞬間

おサルさん、立ち上がって「つくしほいくえん」の看板をつたいすぐ頭上のアイビーとアケビの花咲くアーチにやってきた。

「わあ、なにをするつもり！？」と驚くが早いか

職員の上をびよんと飛び越え、階段の屋根に飛び移りそのまま二階に登って、廊下の柵をつたい、山へ帰って行った。

タンゴを踊る黒猫の親子を見た、という噂もある。

そういえば春先、お腹の大きい親猫が庭を歩いていた。

しばらく姿を見ないなと思っていたら、ある日突然牧師館脇の物干し場から「みゃあ～、みゃあ～」と鳴き声。

放置してあった古い流しのシンク下をそっと開けたら黒猫3兄弟、あわてて飛び上がり、転げながら走り去った。

最近では、親1匹と少し育った子猫1匹がよく連れ立って園庭を我が物顔で練り歩き、時にタンゴを踊るといのだが本当だろうか？

園見学の親子がすべり台に夢中になっているその脇を  
するするっと茶色い毛並が横切っていったことも。

キツネより小さい？ 振り返るその姿は、そう、イタチ。

「自然いっぱいなんですよ」と、苦笑いする園長。

「初めて見ました！」と、ただただ目を丸くする母親  
やっぱり、つくし保育園はワンダーランドだったんだ！

(少しだけフィクションが入っています)

(つくし保育園園長 つだかずお)

<だいで教会より> 子どもと楽しくすごせる礼拝

毎週日曜午前10:30より、お庭のチャペルで

毎週楽しいカードを配り、子どもに向けたメッセージもあります。

どうぞご家族でお気軽にお越しください。